

b) その間家でしていたこと(n=57*、重複回答)

順位	(n=57*、重複回答)	人数	%
1	ア) テレビ ビデオ鑑賞	40	70.2%
2	ウ) 家事	38	66.7%
2	オ) 電話やメール	38	66.7%
3	イ) インターネット	28	49.1%
4	エ) 趣味(手芸 読書 お菓子作り等)	24	42.1%
5	カ) その他	8	14.0%

*前項目の 58 名中本項目無回答 1 名ゆえ n=57

その他 (8 名)

各家庭での情報交換など

子供同士に行き来をさせて遊ばせました

お友達を家に呼んで過ごした

アルバイトには行っていた(週 3 日)

スポーツ

かびとり、大掃除、筆筒の中など

寝る

インターネットでの子どもの宿題に追われていた

【8】 SARS 関連情報入手に使用した言語 (重複回答)

(重複回答)	人数	%
1)日本語	66	94.3%
2)英語	32	45.7%
3)広東語	15	21.4%
4)北京語	1	1.4%
5)その他	0	0.0%

【9】 SARS 関連情報の入手先—メディア別 (n=68*、重複回答)

情報入手先 メディア別 (n=68*、重複回答)	人数	%
1)テレビニュース		
d)日本版	48	70.6%
a)地元中国語版	20	29.4%
b)地元英語版	20	29.4%
c)国際英語版	9	13.2%
e)その他	0	0.0%
無効回答	1	1.5%
2)新聞		
c)日本の新聞のアジア版	44	64.7%
d)地元日本語情報誌	19	27.9%
b)地元英語版	11	16.2%
a)地元中国語版	3	4.4%
e)その他	0	0.0%
3)インターネットホームページ		
e)地元日本語情報誌ネット版	29	42.6%
b)香港衛生署	26	38.2%
c)在香港日本総領事館	24	35.3%
d)WHO	13	19.1%
e)厚生労働省	8	11.8%
f)その他	7	10.3%
a)ネットは使っていない	4	5.9%
4)その他		
a)配偶者の社内情報	49	72.1%
b)友人間の口コミ	43	63.2%
c)総領事館主催の医務官による説明会	5	7.4%
d)その他	0	0.0%

*全項目無回答 2 名ゆえ n=68

3) インターネット、f) その他

会社からの情報

日本人小学校

ローカルのサイト

日本人同士でのネット上での情報が一番役にたった

香港在住者のサイト

Yahoo のニュース、SARS 関連の記事全て。SARS で検索

順位	情報入手先 (n=68、重複回答)	人数	%
1	a)配偶者の社内情報(その他)	49	72.1%
2	d)日本版(テレビ)	48	70.6%
3	c)日本の新聞のアジア版(新聞)	44	64.7%
4	b)友人間の口コミ(その他)	43	63.2%
5	e)地元日本語情報誌ネット版(インターネット)	29	42.6%
6	b)香港衛生署(インターネット)	26	38.2%
7	c)在香港日本総領事館(インターネット)	24	35.3%
8	a)地元中国語版(テレビ)	20	29.4%
8	b)地元英語版(テレビ)	20	29.4%
9	d)地元日本語情報誌(新聞)	19	27.9%
10	d)WHO(インターネット)	13	19.1%
11	b)地元英語版(新聞)	11	16.2%
12	c)国際英語版(テレビ)	9	13.2%
13	e)厚生労働省(インターネット)	8	11.8%
14	f)その他(インターネット)	7	10.3%
15	c)総領事館主催の医務官による説明会(その他)	5	7.4%
16	a)ネットは使っていない(インターネット)	4	5.9%
17	a)地元中国語版(新聞)	3	4.4%
18	e)その他(テレビ)	0	0.0%
18	e)その他(新聞)	0	0.0%
18	d)その他(その他)	0	0.0%

【10】 上記のうち、最も信頼していた情報入手先 (自由記述)

順位	最も信頼した情報入手先	人数	%
1	a)配偶者の社内情報(その他)	21	30.0%
2	b)香港衛生署(インターネット)	8	11.4%
3	d)WHO(インターネット)	4	5.7%
4	d)日本版(テレビ)	3	4.3%
4	a)地元中国語版(テレビ)	3	4.3%
6	e)地元日本語情報誌ネット版(インターネット)	2	2.9%
6	d)地元日本語情報誌(新聞)	2	2.9%
6	「総領事館」とだけ書いたもの	2	2.9%

順位	最も信頼した情報入手先	人数	%
9	b)友人間の口コミ(その他)	1	1.4%
9	c)在香港日本総領事館(インターネット)	1	1.4%
9	c)総領事館主催の医務官による説明会(その他)	1	1.4%
9	d)その他(その他)	1	1.4%
13	c)日本の新聞のアジア版(新聞)	0	0.0%
13	b)地元英語版(テレビ)	0	0.0%
13	b)地元英語版(新聞)	0	0.0%
13	c)国際英語版(テレビ)	0	0.0%
13	e)厚生労働省(インターネット)	0	0.0%
13	f)その他(インターネット)	0	0.0%
13	a)ネットは使っていない(インターネット)	0	0.0%
13	a)地元中国語版(新聞)	0	0.0%
13	e)その他(テレビ)	0	0.0%
13	e)その他(新聞)	0	0.0%
	無効(テレビ、といったものや、2個以上あげているもの)	16	22.9%
	無回答	5	7.1%
	合計	70	100.0%

その他

- ・ その他(その他) 香港衛生署の発行した日本語訳資料
- ・ インターネットでの地元中国語版ニュースを日本語に訳した情報

【11】 4月1日に少年のデマが流れた時は、自分あるいは家族が食料の買出しに行ったか。

	人数	%
1) はい	4	5.7%
2) いいえ	61	87.1%
無効 無回答	5	7.1%
合計	70	100.0%

【12】 SARS 流行当時ストレスになったこと

非常にストレスになった(1) かなりストレスになった(2)
 少しはストレスになった(3) まったくストレスにならなかった(4)

	1	2	3	4	無効 回答	無回答	合計
12-1 ウィルスという目に見えないものを相手にしていたこと	28 40.0%	27 38.6%	12 17.1%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.9%	70 100.0%
12-2 新しい病気ゆえ、多くの情報があっても、何が正しいのかわからなかったということ	29 41.4%	25 35.7%	12 17.1%	2 2.9%	0 0.0%	2 2.9%	70 100.0%
12-3 SARS 予防のための消毒作業が増えたこと	13 18.6%	21 30.0%	30 42.9%	4 5.7%	0 0.0%	2 2.9%	70 100.0%
12-4 家にこもっていたこと	20 28.6%	26 37.1%	16 22.9%	4 5.7%	1 1.4%	3 4.3%	70 100.0%
12-5 香港に押し込められている感覚	16 22.9%	20 28.6%	16 22.9%	12 17.1%	1 1.4%	5 7.1%	70 100.0%
12-6 自分を含めて家族から一人も感染者を出してはならないということ	30 42.9%	17 24.3%	15 21.4%	4 5.7%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
12-7 SARS かなければ出来たはずのこと(帰国、旅行、結婚式やお葬式への出席等)が延期や中止になったこと	16 22.9%	9 12.9%	24 34.3%	15 21.4%	0 0.0%	6 8.6%	70 100.0%

12-8 その他 (14名回答)

長期帰国したのでストレスは全く無い(数字なし)

配偶者が香港国外へ出張したまま香港へ戻ってこられず父親不在の日々が続いた(1)

主人の会社からの帰国命令が出なかったため、子どもの居ない私は日本に帰るべきかどうか悩み、ストレスになった(結局4月半ばに日本に帰りました)(数字なし)

帰国しなかったのに帰国せざるを得なかった(1)

偶然日本に一時帰国していたのに相手の反応が怖くて人に会うことがためらわれ、とてもストレスでした(1)

帰国中香港帰りとなかなか言い出せなかったこと(1)

入学式に出席できなかったこと(一時帰国中に行われたため(1))

どの情報を信じてよいのかかわからなかった(日本はかなり過剰反応(1))

ストレスになったといえば日本での大げさな報道のお陰で実家からの過干渉ですか

(3)

- ・ 日本のマスコミの過度な報道それに対する身内の反応(2)
- ・ SARSの情報等における人間関係(2)
- ・ 香港在住の友人が居なくなってしまったこと(2)
友人が一時帰国するなど日常生活が乱されたこと。マスクをして外出すること(数字なし)
- ・ SARS 感染てはなくても熱すら出してはいけない状況に置かれたこと(1)
- ・ いつまで続くのか出口が見えずそれが余計に不安だったこと(1)
いつ沈静するか全くわからなかったこと(1)
なぜもっと早く中国政府が対策にかからなかったのかという怒り(1)

【13】 SARS 流行当時（3月半ば～5月末）の気持ち 考え方そして体調

非常にあてはまる（1） かなりあてはまる（2）
少しはあてはまる（3） まったくあてはまらない（4）

	1	2	3	4	無効回答	無回答	合計
13-1 自分も SARS にかかったのではないかと 思ったことがある	7 100%	6 86%	16 22.9%	37 52.9%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
13-2 ひょっとしたら自分も SARS にかかって 死ぬのではないかと考えたことがある	4 5.7%	4 5.7%	21 30.0%	37 52.9%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
13-3 SARS 関連情報を見聞きするのを、避 けていた時期がある	0 0.0%	0 0.0%	9 12.9%	57 81.4%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
13-4 仮に自分または家族に SARS か疑わ れる時、具体的に何をしたらよいかよ く知っていたと思う	8 11.4%	28 40.0%	21 30.0%	10 14.3%	0 0.0%	3 4.3%	70 100.0%
13-5 家族が感染しないか心配だった	30 42.9%	25 35.7%	6 8.6%	6 8.6%	1 1.4%	2 2.9%	70 100.0%
13-6a 子どもの学校の再開時期や勉強の選 れが気がかりだった	17 24.3%	10 14.3%	6 8.6%	8 11.4%	26 37.1%	3 4.3%	70 100.0%
13-6b 子どものための安全な遊び場がなく て困った	24 34.3%	7 10.0%	7 10.0%	4 5.7%	26 37.1%	2 2.9%	70 100.0%
13-7 アマさんの衛生管理に神経を使った	10 14.3%	10 14.3%	14 20.0%	18 25.7%	6 8.6%	12 17.1%	70 100.0%
13-8 日本から見捨てられた気がした	10 14.3%	9 12.9%	23 32.9%	23 32.9%	0 0.0%	5 7.1%	70 100.0%

	1	2	3	4	無効回答	無回答	合計
13-9 煙草や飲酒の量が増えた	0	2	1	56	3	8	70
	0.0%	2.9%	1.4%	80.0%	4.3%	11.4%	100.0%
13-10 間食が増えた	4	4	13	45	0	4	70
	5.7%	5.7%	18.6%	64.3%	0.0%	5.7%	100.0%
13-11 疲れやすかった	7	6	18	34	0	5	70
	10.0%	8.6%	25.7%	48.6%	0.0%	7.1%	100.0%
13-12 頭痛かした	2	2	11	50	0	5	70
	2.9%	2.9%	15.7%	71.4%	0.0%	7.1%	100.0%
13-13 胃腸を悪くした	2	2	9	52	0	5	70
	2.9%	2.9%	12.9%	74.3%	0.0%	7.1%	100.0%
13-14 睡眠起床が困難になった	2	1	7	55	0	5	70
	2.9%	1.4%	10.0%	78.6%	0.0%	7.1%	100.0%
13-15 手足がしびれた	0	0	0	65	0	5	70
	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	0.0%	7.1%	100.0%
13-16 発疹などのアレルギーが出た	0	3	1	61	5	0	70
	0.0%	4.3%	1.4%	87.1%	7.1%	0.0%	100.0%
13-17 視力が落ちた	0	0	4	61	0	5	70
	0.0%	0.0%	5.7%	87.1%	0.0%	7.1%	100.0%
13-18 血圧が高くなった	1	0	0	64	0	5	70
	1.4%	0.0%	0.0%	91.4%	0.0%	7.1%	100.0%
13-19 持病が悪化した 病名()	1	0	0	63	0	6	70
	1.4%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	8.6%	100.0%

13-19 で挙げられた病名

子宮内膜症(1)

13-20 その他 (5名)

・ 風邪か治りにくかった(1)

普段めったに風邪を引かないのに、SARS 流行の時には風邪気味だった(数字なし)

なんについても神経質になった(数字なし)

住んでいるマンションや会社の入っているビルなどから感染者が出るのではないかと心配であった(2)

とにかく日本のヒステリックな過剰報道、恥だと思います(1)

【14】心の支えや安心感につながったこと

	あった (A)	なかった (B)	無効回 答	無回答	合計
1)日本や外国の家族・実家や友人からの 見舞い	67	0	1	2	70
	95.7%	0.0%	1.4%	2.9%	100.0%
2)香港に留まった人達との電話 メールや集 まり	62	6	0	2	70
	88.6%	8.6%	0.0%	2.9%	100.0%
3)配偶者勤務先の本社からの見舞いの一言	27	35	2	6	70
	38.6%	50.0%	2.9%	8.6%	100.0%
4-a)配偶者の勤務先で提供される SARS 関 連情報	63	4	0	3	70
	90.0%	5.7%	0.0%	4.3%	100.0%
5)家族の一時帰国費用の会社(配偶者勤務 先)負担	66	2	0	2	70
	94.3%	2.9%	0.0%	2.9%	100.0%
6)家族か一時帰国で香港を離れられたこと	46	18	0	6	70
	65.7%	25.7%	0.0%	8.6%	100.0%
7)家族に SARS か疑われる時の診察費の会 社(配偶者勤務先)負担	44	7	4	15	70
	62.9%	10.0%	5.7%	21.4%	100.0%
8-a)一緒に香港に留まった家族の存在	35	15	4	16	70
	50.0%	21.4%	5.7%	22.9%	100.0%
8-b)ほぼ全員香港に留まっていた総領事館 員の家族の存在	22	27	8	13	70
	31.4%	38.6%	11.4%	18.6%	100.0%
9)香港社会を励ますようなボランティア活動 への参加(例 日本人有志による千羽鶴の 贈呈等)	34	23	4	9	70
	48.6%	32.9%	5.7%	12.9%	100.0%
10)野外での活動(スポーツや散歩等)	21	33	1	15	70
	30.0%	47.1%	1.4%	21.4%	100.0%
11)相談できる日本人の精神科医 心理カウ ンセラーの存在	3	59	1	7	70
	4.3%	84.3%	1.4%	10.0%	100.0%
12)香港政府の情報開示の姿勢	54	10	0	6	70
	77.1%	14.3%	0.0%	8.6%	100.0%

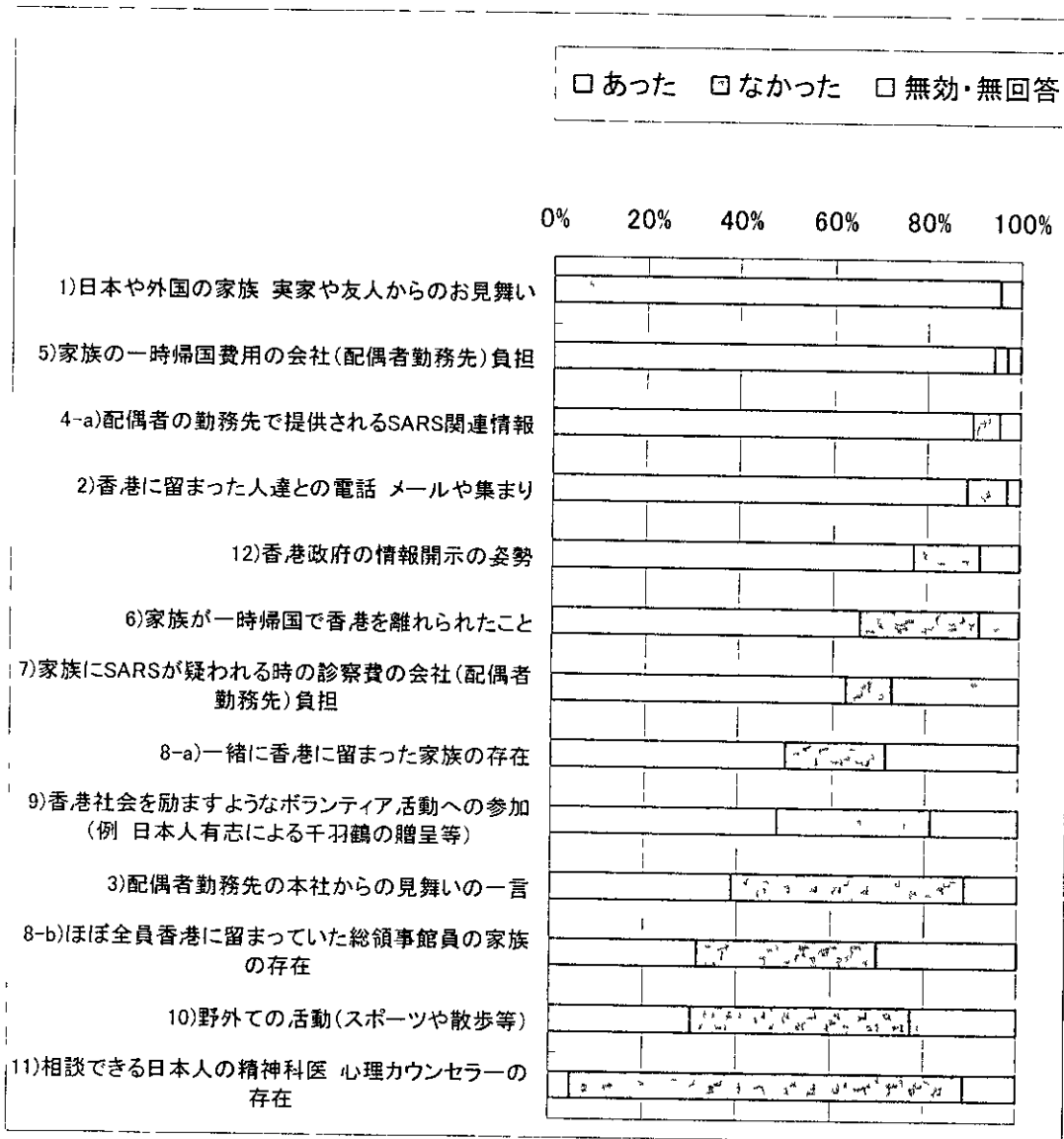


図 2-1 【14】心の支えや安心感につながったことの有無(家族) (n=70)

非常に心の支え 安心感につながった (1) かなり心の支え 安心感につながった (2)

少しは心の支え 安心感につながった (3) まったくつながらなかった (4)

	あった						なかった			
	1	2	3	4	無回答	小計 (A)	あればよかった	なくても構わない	無回答	小計 (B)
1)日本や外国の家族 実家や友人からの お見舞い	26	13	25	1	2	67	0	0	0	0
	38.8%	19.4%	37.3%	1.5%	3.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2)香港に留まった人達との電話 メールや集まり	32	19	9	0	2	62	2	3	1	6
	51.6%	30.6%	14.5%	0.0%	3.2%	100%	33.3%	50.0%	16.7%	100%
3)配偶者勤務先の本社からの見舞 いの一言	5	9	11	1	1	27	13	17	5	35
	18.5%	33.3%	40.7%	3.7%	3.7%	100%	37.1%	48.6%	14.3%	100%
4-a)配偶者の勤務先で提供される SARS 関連情報	19	22	18	2	2	63	4	0	0	4
	30.2%	34.9%	28.6%	3.2%	3.2%	100%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
5)家族の一時帰国費用の会社(配 偶者勤務先)負担	33	16	10	2	5	66	0	1	1	2
	50.0%	24.2%	15.2%	3.0%	7.6%	100%	0.0%	50.0%	50.0%	100%
6)家族が一時帰国で香港を離れら れたこと	16	13	13	2	2	46	3	10	5	18
	34.8%	28.3%	28.3%	4.3%	4.3%	100%	16.7%	55.6%	27.8%	100.0
7)家族に SARS か疑われる時の診 察費の会社(配偶者勤務先)負担	24	8	8	2	2	44	5	1	1	7
	54.5%	18.2%	18.2%	4.5%	4.5%	100%	71.4%	14.3%	14.3%	100%
8-a)一緒に香港に留まった家族の存 在	23	6	3	1	2	35	2	4	9	15
	65.7%	17.1%	8.6%	2.9%	5.7%	100%	13.3%	26.7%	60.0%	100%
8-b)ほぼ全員香港に留まっていた総 領事館員の家族の存在	6	1	10	4	1	22	2	22	3	27
	27.3%	4.5%	45.5%	18.2%	4.5%	100%	7.4%	81.5%	11.1%	100%
9)香港社会を励ますようなボランティ ア活動への参加(例 日本人有志 による千羽鶴の贈呈等)	11	7	10	4	2	34	5	12	6	23
	32.4%	20.6%	29.4%	11.8%	5.9%	100%	21.7%	52.2%	26.1%	100%
10)野外での活動(スポーツや散歩 等)	9	5	6	0	1	21	10	18	5	33
	42.9%	23.8%	28.6%	0.0%	4.8%	100%	30.3%	54.5%	15.2%	100%
11)相談できる日本人の精神科医 心理カウンセラーの存在	1	1	1	0	0	3	30	26	3	59
	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100%	50.8%	44.1%	5.1%	100%
12)香港政府の情報開示の姿勢	9	8	30	2	5	54	6	1	3	10
	16.7%	14.8%	55.6%	3.7%	9.3%	100%	60.0%	10.0%	30.0%	100%

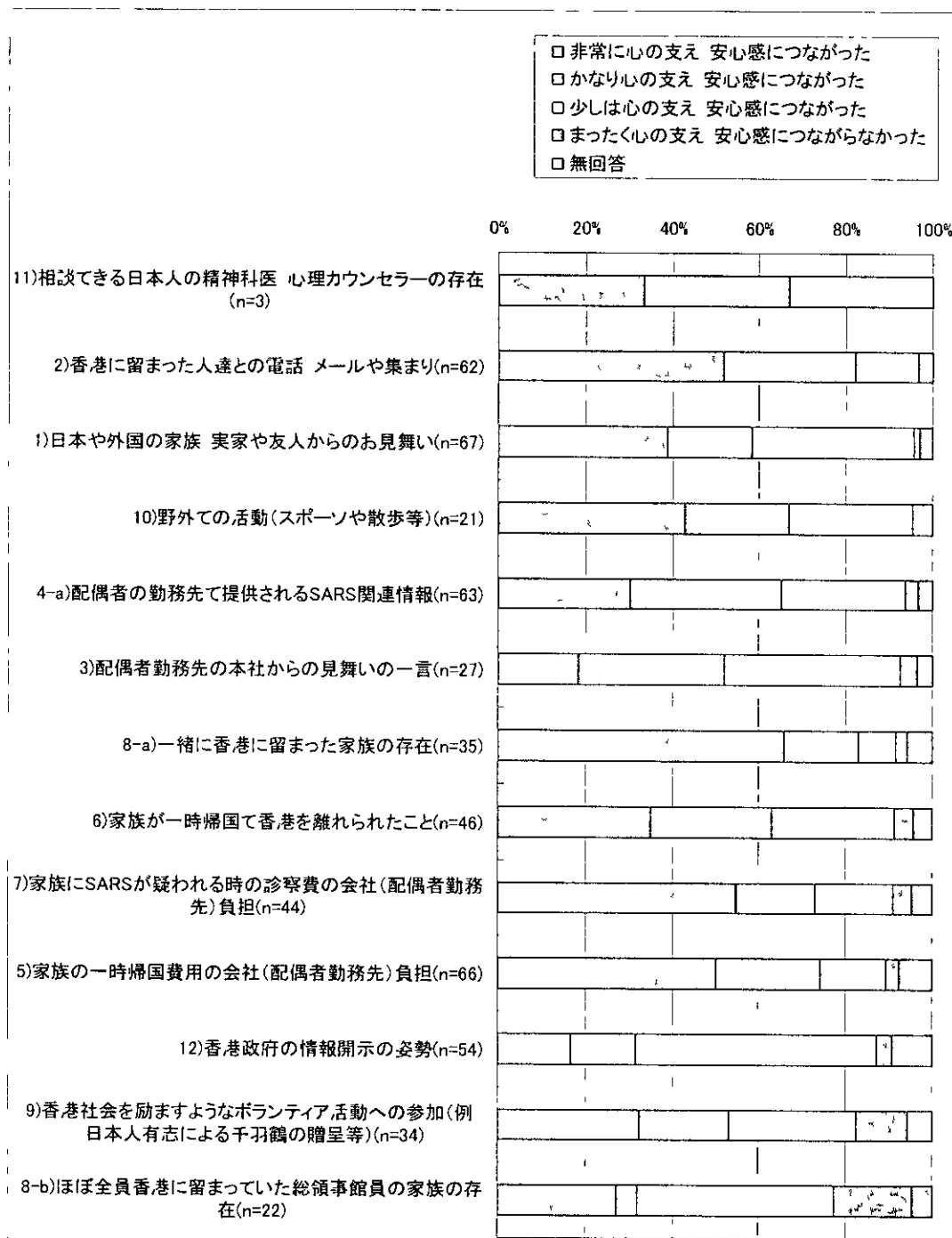


図 2-2 【14】心の支えや安心感につながったことへの評価 (家族)
(nはそれらが「あった」と答えた者)

13)表項目以外に心の支えや安心感につながった出来事 (12名回答)

友人達の何人かは家族共に香港にいてパーティーをしたりテニスをしたりしていましたので実際には普通の生活でした。友人家族達が支え、安心感につながったかも知れません。

家族での会話が安心感につながった

香港に残った日本人達との交流は心の支えになりました

会社の婦人(居残り組)達と今以上に仲良くなれたのでそれは楽しかった

友人知人間での情報交換を通しての信頼感や一体感。

香港在住者のインターネットのサイトを見て自分だけ大変なわけではないと気持ちを共有できたこと

マンション内の感染者、日本人の感染者が出なかったこと。

会社内での集まりの機会を多く持ち仲間意識が出来、一人ではないと思える気持ちか出来た

同じ年頃の子どもの持つお母さん同士の励ましあいが最も心の支えだった

同じマンションや会社の方との情報交換

子どもと長期帰国したため不安は全く無かった。体制への不満も全く無い

主人が元気に毎日出勤していたこと

夫か社員(現地人も含む)への配慮などに氣心を砕いており、逆にファイトが沸いてきました

マンションのエレベーターのボタンが毎時消毒されていた

C 現在(主 7月末～8月下旬)の気持ち 考え方

【15】 SARSの流行以来、最も不安の強かった時期

	人数	%
2月	0	0.0%
3月	8	11.4%
4月	54	77.1%
5月	0	0.0%
6月	0	0.0%
無効回答*	7	10.0%
無回答	1	1.4%
合計	70	100.0%

*「4～5月」のように複数月にまたがっている回答は無効とした。

【16】 その時の不安を 100 とすると、現在は何%位に下がったと思うか

	人数	%
0%	13	18.6%
1-9%	7	10.0%
10-19%	22	31.4%
20-29%	14	20.0%
30-39%	2	2.9%
40-49%	4	5.7%
50-59%	1	1.4%
60-69%	1	1.4%
70-79%	2	2.9%
80-89%	1	1.4%
90-99%	0	0.0%
100%	0	0.0%
無効回答	1	1.4%
無回答	2	2.9%
合計	70	100.0%

【17】 SARS 再流行への不安

1) 非常に不安 2) 少し不安 3) あまり気にしていない 4) まったく気にならない

	人数	%
1	34	48.6%
2	25	35.7%
3	8	11.4%
4	2	2.9%
無効回答	0	0.0%
無回答	1	1.4%
合計	70	100.0%

【18】SARS に関する日本のマスコミ報道についての感想 意見(自由記述)(回答率 91%)

◆取り上げたタイミングのずれ

当地で既に流行していた 3 月 4 月中旬頃まではまだそれほどでもなかったのに、その後急に騒ぎ始めて、そのころ香港駐在員はほとんど帰ってしまいました。もっと早く海外のことも詳しく報道してほしいと思いました。

イラク戦争と時期が重なったため、初期段階で重要視されなかったことに憤りを感じた。

◆当事者への配慮の欠如

当地に暮らす日本人の立場にたった報道ほとんどなかった
在住者への配慮が感じられない報道が多かったように思う。孤立感をとても感じた
正確な情報を流していない。ニュース性としてインパクトのある事ばかり記事にした
り、香港に残っている人達の気持ちなど考えていない事に怒りを覚えた。

- ・ 日本に一時帰国していた時、香港の現状を報道して欲しかった。感染者数の報道ばかりで香港での生活に戻らなければならない私達は生活の様子(スーパー、街)を知りたかった。

◆無責任さ

北京 台湾 香港をごちゃまぜにし、いたずらに不安ばかりを煽る非常に無責任なやり方だと思った。

ニュースとしてではなくワイドショー的なお祭り騒ぎで迷惑だ
「世界中でSARSが流行しているのに日本には患者か一人も居ないなんておかしい。国が隠しているに違いない。」と言っている人がいて無責任な発言だと思った。

◆報道のターゲットになることへの心配

もし自分や家族がSARSにかかってしまったら一体どんな報道をされるのか、とてもそのことが心配で、再び流行した場合は日本へは帰国する事は考えると思う。
あまり良い印象ではありませんでした。自分達自身か SARS ウィルスになったようなイヤな感じてした。帰国時に TV のインタビューを受けそうになりました。遊びに帰国したわけではありません。

◆いたずらに不安を煽る、過剰報道→正しい内容の報道を

- ・ 客観的事実の報道というよりは、むしろ恐怖感を増長したり、患者等(もちろん疑わしい人も含む)を排除することを目的とするような感じに受け取れた。
異常に誇張しすぎて日本に居る人々、香港に居る日本人の不安を煽った。
少し報道がオーバーすぎて、逆に香港にいて不安になる
過剰に危険だという報道をしていたと思う。おかげで日本人に間違った認識を与え、不安を煽った。(自分自身も日本に一時帰国していたので、すごく不安になった)
- ・ 日本のマスコミ報道はいたづらに不安を煽り過ぎていたと思う。香港に帰ってきてみたら(5月初旬)みな普通に生活していて気が抜けた
- ・ 過剰すぎると思いました。”ヤラセ”もありましたし。
- ・ 日本のマスコミは過剰反応。まったく「馬鹿丸出し」のひとつ。どうしてあんなにヒステリックなんでしょうね？ 恥ずかしいです
日本での SARS のニュース等はひどいところばかり写していた。特に台湾の病院の内情の時、具合が悪くなった。

アモイガーデンの報道が大きく取り上げられすぎている。

事実をかなり捻じ曲げてセンセーショナルに報道していて、非常に腹が立った。特にワイドショー、ニュースステーション。マスコミ不信になりました。

日本の新聞、NHK、友人の電話でしかマスコミ報道についてはわからないのですがスーパーマーケットも開いていたし、必要なものは手に入ったし、少しオーバーだったのではないのでしょうか。

必要以上に煽るような報道も目に付いた(悪意を感じることもあった)もっと、次々と冷静な報道をしてほしかった。

人々の不安を煽りすぎ。本当の事のみを報道してほしい。一般の人の不安を煽るより、政府の対応の悪さを追及してほしい。

ただ騒ぐだけで肝心な情報(感染経路対処方法予防方法等)が提供されていなかった。意味のないものに思えた。

少々オーバーに報道。および他人事のような印象を受けました。(予防策などを中心に報道すべきではないかと感じていました)

日本にいる人に対してSARSの恐怖を煽っているように思えた。SARSで残念ながら亡くなってしまった人の事だけを取り上げ、他の退院した人、又は普通に生活を送っている多数の人の事をまったく報道していなかった。

騒動を扇ぐような事実を誇張している感じ。例えば日本人感染者が一人もいないということからも感染者は割合からすればとても少ないのに、ものすごく危険という感じを受ける。

◆報道が国民の態度に与えた影響——一時帰国者の被差別感

とにかく無責任な報道(スキャンダルの扱い)で、とてもつらかったです。全く知識のない日本国内の人々が持つ香港帰国者に対するイメージをとて悪くしたと思います。このせいで帰国時の扱いがひどくなってしまいました。

日本のマスコミは大変だと言うことばかり報道して、香港から帰国すると言うだけで差別されていたような気がします。

的外れ。恐怖心を煽るようなものはかりで、偏っていると思う。結果、一時帰国者の孤立感が高まり、香港での冷静な報道と温度差を感じた。

非常に過剰だと思う。あれほど過剰に報道されたから私達が日本で肩身の狭い思いをさせられたと思う

- ・ 道行く人がバツバツと倒れんばかりの大きさな報道に怒りを感じた。それで余計日本に居づらかった

【19】SARSに関する日本政府の対応(渡航延期勧告、帰国時の10日間自主隔離、空港の検疫体制、等)についての感想 意見(自由記述)(回答率89%)

◆10日間自主隔離勧告の解除の遅さ

仕方ないと思うか、10日間自主隔離には大変迷惑した。でもまあ妥当だと思う。解除になるのはちょっと遅すぎた。(それも安全面から考えると仕方ないと思うが) 病気が流行した時の対応の遅さ、また解除の遅さを感じる。外国の友人は帰国後10日間も自宅待機などしなかったとのこと。

◆10日間自主隔離勧告への批判-実効性の疑わしさ-

全く無責任。5月7日香港へ戻る時、関空には香港人らしき旅行者が、尺山出入りしていたし、香港から帰国しても10日間どこに自主隔離しますか？自宅ではなく多分ホテルを選べば、自己申告しなければあちこちでホテルに隔離することとなり、ここで発生したらどうなりますか？台湾人医師と同じ結果です。

ある程度仕方ないと思いましたが、10日間の自主隔離をどこでするのかは難しい問題だと思いました。

10日間の隔離をするのであれば、隔離場所を確保してほしい。

10日間の自主隔離は何の意味があるのかわからなかった。空港の検疫も口頭のみであり、香港からの一時帰国という事で特別扱いをされ、不愉快なことが多く、精神的ストレスがあった。

この期間多くの香港人が日本に入国しているのに、日本人に対してのみ自主隔離等を実施しているのが全く馬鹿げている。

機内より、ずっとマスクをし、空港に着いてもその姿で回りの人の目が気になった。

10日間の隔離、実家に居たが、もし感染したらまわりの人にもうつっているという怖れがあった。

帰国時の自主隔離 - 無理と思いますけど？

10日間自宅待機をしても、空港に降り立った時点で感染が広まっている場合もあるので、自宅待機の意味がないと思う。それより中国からの旅行者を入国させない措置をとるほうが賢明だと思った。

日本人に対してはきっちり行われていてよかったと思いますが、汚染地区からの外国人(特に中国人)の日本入国に対してはとても甘かったのはと危惧しました。例えば観光客として入国する場合、10日間自主隔離はないわけですから、とても危険だと思いました。

対応としては良いと思う。香港人がSARS騒ぎの中に日本に旅行している人が多く、簡単に(短い滞在での行き来が可能だった)行き来が出来たことに不安を感じました

- ・ 10日間の自主隔離は大変だと思った。その反面香港人が観光でどんどん日本に入国していた

◆10日間自主隔離勧告への理解

仕方ないことだったと思う。しかし、国会議員の人が北京かどこかに行った後10日間自主隔離せず国会に出席した時は非常に腹が立った。

◆渡航延期勧告への理解

渡航延期勧告はまあ妥当と思います。用もない人は来ない方が。でも、仕事の方は、マスクして手を洗ってれば大丈夫なので - ？ですが。

渡航延期勧告と帰国時 10 日間自主隔離は必要だと思う。

◆空港の検疫体制への批判 - 検疫の不徹底 -

香港からの帰国者に対しては慎重だったと思うか、感染国からの入国者(旅行者、ビジネスマン等)に対しては対応が甘かったと思う。

感染地域からの観光客の受け入れ態勢に正直不安でした。(問診票のみだったのて、自己申告する人は少ないのではないかと)

空港の検疫体制をもっと徹底していたら、台湾人医師のような騒ぎは未然に防ぐことか出来たと思う。

対応が遅いし、いつでもそうだが、何を一番にしなければいけないのかかわかっていない。外国人には甘く、日本人だけに厳しかったことに怒りを感じる。後で聞けば空港での検疫体制も報道されている様には全くなってなく、甘かったようだ。

報道等では連日SARS報道がされていた4月初旬の成田空港で、私達は何の検疫を受ける事もなく通り抜けてしまった。報道だけが先行し、行政の具体的な対策が非常に後手に回っていた。

のんびりしていると思う。4月に帰国の時点で、空港での検温もなく、多数の中国からの旅行客を受け入れていることに驚いた。

10日間の自主隔離、意味なし。検疫も私の帰国時はアバウトで、日本に感染者が出なかったのが不思議。

遅い。私の帰国した3月31日の検疫は素通りしてきた。あれでよく日本に入ってこなくて済んだと思う

◆検疫を徹底することによる安心感

4月18日~21日とハリ島に行きましたが、途中(4時間のトランジット)シンガポールでも、勿論出入国時の香港でも体温検査等ものものしい雰囲気でした(軍の兵士のような服を着て銃のようなものを持っていました)。でもそれが安心になりました。日本もそのように厳しくしてたのでしょうか？日本のことは良くわかりませんでした。

◆一時帰国した子女の学校問題

渡航延期勧告、10日間、検疫の部分はしょうがないと思いますが、学校の受け入れなどはしっかりした方針をもって対応してほしいかと思う。入園入学を拒否された人もいたようです。

◆全般的なコメント(意見なし)

・ 特になし

妥当に思う

日本にSARSを上陸させないためにはやむを得ない対応だったと思う。

◆全般的なコメント(批判的)

強制力がなく効果はわからない

未然に防ぐためには理論上は必要なことかも知れませんが実生活には合わない(無理)なこともあると思う。

それはやはり当然の対応だと思うか、イコールばい菌扱いの感があり、不愉快だった

- ・ 言葉だけで実際は何の対応も取ってないように思われる

こちらも同様、過剰すぎると思いました。マスコミや日本在住の人々をあおっていると感じました。

SARSに感染した台湾人医師の来日にはあまりのずさんさに驚きました。

その場しのぎの上、後手後手に回っていて、本当に患者が出たら、全く意味をなさなかったのではないかと思う。

対応について全て後手に回り、不十分なものであったと思う。何一つ徹底されていたもの(策)がなかったように思う。全く危機感がなく、信頼できないものだった。

とても対応が遅い。その地域に居る人がもっと安心できるような対応をしてほしい。

検疫もとても甘い

一時帰国中、辛い目に会った方も多かったようです

- ◆ 全般的なコメント(肯定的)

香港に滞在していたために実際の体験がないためによく解りませんか、適当な処置のように思われます。

【20】SARSに関する会社の海外赴任者への対応についての感想 意見(自由記述)(回答率 90%)

- ◆ 対応に満足

前例の無い事だっただけに、いささか対応が遅かった気もするが、結果的には適切だったと思う。満足している。

帰国の判断を各自に任せたことは良かったと思う

適切な対応だったと思います

情報も入り、あまり不安を感じずに済んだ

あくまでも個人判断で決定、かなりの援助があったと思う。

- ・ 会社の対応については安心して生活できたと思う。

非常に良かったし、助けてもらった。

非常に満足しています。

最終判断を各個人に任せて頂き助かりました。学齢期の子ども達が公的機関でひどい扱いを受けたので、日本はいづらく、精神的に参りました。リスクを自己責任というのはとてもつらかったですか、我が家はそれでもすくわれました。

日本に帰国する際費用(航空券)等、ありがたく思っております。

◆対応への不満(全般)

ほとんど大したことはなくとも不安であった

◆対応の遅さ

このような危機に対してまったく素早い対応がとれていなかった。状況が刻一刻と変化する中で素早い判断が下せないという事は致命的であり、早い段階で会社に期待する事はなくなった。

会社としての方針を打ち出す時期が遅かったと思う。このため帰国時期に著しい差が生じていた。

対応が他社より遅かったように思う。何が一番大切かを考えてほしい

東京本社からの対応は遅かったように思います。現地のほうではいろいろ情報をいただきました。

SARSがよくわからなかったことありますが、対応は遅かった。自分達で判断しなければいけない事が多かった。もう少し早くに対応をしてほしかった。

とても遅かったと思う。

◆対応の過剰さ 過敏さ

マスコミにおどらされた過剰対応

今思えば、しょうがなかったのかもしれないが、日本へ戻る支持もあいまい。香港に戻ることに非常にナーバスで、家族は帰国のタイミングや香港へ戻るタイミングがなかなかつかめず大変でした。でも、物質的補助(費用の会社負担等)は最大限に取り計らってくれたと思います。

◆病原菌扱いへの怒り

ヒステリックだったり、薄情だったりのようですが というわけで対応が良い会社もあれば知らん顔の所もありますよね。でも概ね日本のヒステリック報道の為、これまたピントずれてましたね。ばい菌あつかいされたという人、いっぱいいますよ。

◆冷たい印象

SARSが流行した当初、会社負担の一時帰国は子ども連れの家族のみでした。私は子どもが居ないので香港にとどまろうかと思っていましたが、日本の家族からの帰国要請や自分自身も怖くなってきたこともあり結局自費で帰国することにしました。香港へ戻る(5月下旬)直前に、子どもの居ない家族にも帰国費用を負担してくれることになりましたが、いろいろな面で会社は案外冷たいなと思いました。

冷たい。もっと情報を開示して誠意ある態度がほしかった。

対応は遅かったと思います。それと精神面での配慮に欠けていたと感じます。駐在員の要望でマスクや消毒液などが送られてきた次第です。現状があまり把握できていなかったのではないかと思います。

◆自分の身は自分で守る

一時帰国費用の会社負担決定が他の会社よりも遅く、マスクの配布などもなく、自

分の身は自分で守れという感じだった。

日本政府も会社もいざとなるとあまり役には立たない。自分の身は自分で守ることを実感した。

◆会社への要望

-情報の発信

- ・ 正しい情報を流してほしかった

的確な情報(ほしい情報)がなかなかえられない

3~5月の SARS 流行時の対応は十分だったと思うが、冬の再流行を考慮して何か対策をとり始めているかどうかは何も知らされていないので、少し不安を感じる。

-物質面の支援

家族を一時帰国させてくれたのはよかったが、香港滞在中にマスクやうかい菓、消毒薬の支給などが家族に対してもあればよかった。マスクの支給は会社員本人だけだったので、ほとんどは日本の実家などから送ってもらった。

4月初旬に家族の分もマスクやうかい菓を送ってほしかった。(香港では売り切れ、日本の家族に送付依頼したが、SARS 予防の特殊なものは一般では入手できない)その他の対応は十分して頂けました。満足です。

-勤務者の心配

主人の広州等中国出張の制限が必要だったと思う。

家族を会社負担で帰国させてくれたのはありがたいが、本人が現地に残されていてとても心配だった。本人も帰してほしかった。

-帰国の指示必要

妻だけの場合はいいにしても、子どもの居る家庭にはもう少し早い時期に帰国させたほうが良かったと思う。会社の知り合いの奥様が「子ども達のことかとか心配」と少しノイローゼ気味だった。

会社が強制的に帰国を言ってほしかった。かなりぎりぎりの時まで香港に居たのでこわかった。対応が遅い。

- ・ 家族の安全を守るためには強制措置も必要であり(半ば強制)帰国もやむを得ないと思う。

-帰国 滞留については個人の判断を尊重する必要あり

当社に関しての対応は、適当なものだったと思うのですが、他社の対応で会社が帰国等を決定することについて、やや疑問をもちます。会社が強制した場合どのように責任が持てるのでしょうか?強制帰国の場合家族だけではなく駐在員も一緒にあれば理解できますが、家族を引き離すということが実に理解できませんでした。

SARSに関する情報、予防対策など提供があり助かったと思う。ただ他の駐在員家族の帰国に伴い家族が香港に残っていることがいけないように思われたことがスト